

1) 休業要請

国レベル・都レベルの支援のもと2週間程度の休業要請

2) PCR検査の集中的施行

地区医師会・保健所等との連携のもとPCR車も用いた迅速で集中的なPCR検査(匿名性の保護・陽性者のフォロー等)

3) 感染予防講習会の開催

店舗等の開設者・責任者への感染予防講習会の複数回の開催、従業員との情報共有

4) 感染対策確認証・講習会修了証

講習会修了証の発行と掲示、HPでの明示、希望する場合は店舗での現地指導も

5) 地域住民・来訪者への理解と啓発

風評被害の予防・新型コロナウイルス感染症の正しい知識の啓発

6) 地域を挙げての感染対策と経済活動の再開・継続

1) マスク:

室内で人が複数いる空間では着用、屋外では基本的には不要、ただし密集する様な状態(ソーシャルディスタンスが保てない様な人混み)では着用、運動時は着用不可、夏場は歩行時等に注意

2) 手洗い:

他人が触れる可能性があるものに触れた後や外出から帰った時は流水での手洗い、友人と会う前にも手洗い

3) 三密の回避:

『密閉・密集・密接』を避ける

4) 会話:

互いにマスクの着用、正面の位置は避ける

5) カラオケ:

マスク着用、アクリル板の使用、換気、密を避ける、飲食はしない

6) 学校:

教育現場(特に義務教育年齢)の過度な制限は不要では?

感染症別死亡者数（国際医療福祉大学高橋泰先生）

表3 2018年12月から2019年4月にかけてのわが国の感染症別の死亡者数の推移

感染症 分類コード	死因	2018年 12月	2019年 1月	2019年 2月	2019年 3月	2019年 4月
	総数	686	2,342	1,610	777	595
In 101	エボラ出血熱	0	0	0	0	0
In 202	結核	203	217	150	192	175
In 502	RSウイルス感染症	0	0	1	2	1
In 504	インフルエンザ	95	1,685	1,107	258	96
In 505	急性ウイルス性肝炎	22	29	31	23	18
In 507	感染性胃腸炎	229	266	199	181	187

（出典：人口動態調査 全国月別感染症別死亡数（201811-201910）より抜粋）

新型コロナウイルス感染者の年代別重症度比較 (国際医療福祉大学高橋泰先生)

年代	PCR陽性 感染者数	重症度別患者数				重篤率	致死率
		不明	軽症	重症	死者		
10歳未満	253	70	182	1	0	0.40%	0.00%
10代	356	90	265	1	0	0.28%	0.00%
20代	2458	200	2254	4	0	0.16%	0.00%
30代	2267	120	2138	7	2	0.40%	0.09%
40代	2443	120	2287	28	8	1.47%	0.33%
50代	2555	120	2372	47	16	2.47%	0.63%
60代	1743	80	1530	89	44	7.63%	2.52%
70代	1496	50	1263	81	102	12.23%	6.82%
80歳以上	1536	40	1238	30	228	16.80%	14.84%
不明	275		272		3	1.09%	1.09%
合計	15382	890	13801	288	403	4.49%	2.62%

1) 年代別のグルーピング

<u>Group-A</u> : 0~49歳	重篤率	$51/7777 = 0.0066$
	致死率	$10/7777 = 0.0013$
<u>Group-B</u> : 50~69歳	重篤率	$196/4298 = 0.0456$
	致死率	$60/4298 = 0.0140$
<u>Group-C</u> : 70~ 歳	重篤率	$441/3032 = 0.1454$
	致死率	$330/3032 = 0.1088$

2) 各グループの社会活動

Group-A: 標準的感染予防(三密を避ける、手洗い、必要ならマスク着用)を心がけながらの社会活動・同世代との接触

Group-B: テレワーク・モニター等感染予防のため、時間的空間的に距離を保った上での社会活動

Group-C: 同世代との接触は制限ないが、他の世代とは距離を保ち十分な感染対策(逆隔離等)を徹底